

ポルトガルギター & マンドリン

# Marionette

マリオネットコンサート  
～アコースティック Sacay 2024～



如月に纏う、異郷の響き。

MUZICeNET



吉田 剛士



湯浅 隆

未知の風景、遥かな思いへの誘い。  
ポルトガルギターとマンドリンの響きが華麗に演出する、  
旋律の饗宴へようこそ。

2024 **2/24(土)**

開演 15:00 (開場 14:30)

堺市立東文化会館

5階 メインホール

南海「なんば」駅から高野線急行で20分、  
「北野田」駅下車徒歩2分

入場料 **前売** 1,500円 **当日** 2,000円 【全席指定】 ※未就学のお子さまの入場はご遠慮ください。

チケットのお求め

● 堺市立東文化会館  
Tel 072-230-0134

● フェニーチェ堺チケット窓口  
Tel 072-223-1000

● 堺市文化振興財団チケットセンター  
Tel 0570-08-0089 (10:00 ~ 18:00)

チケット発売  
11月18日(土)

● 堺市立柁文化会館  
Tel 072-296-0015

● ローソンチケット  
Lコード 53730

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

● アルテベル  
(堺市立美原文化会館)  
Tel 072-363-6868

● インターネット販売 (要事前登録)  
<https://www.cnplayguide.com/sakai-bunshin/higashi/>

※公演日の前日まで前売料金にてお求めいただけます。※前売券が完売した場合は、当日券はございません。  
※ローソンチケット、堺市文化振興財団チケットセンターでのご購入の場合、発券手数料が必要です。



[主催・お問い合わせ] **堺市立東文化会館**

〒599-8123 堺市東区北野田 1084-136 TEL 072-230-0134  
<https://www.sakai-bunshin.com/>

後援



ポルトガル大使館

大阪日本ポルトガル協会

ポルトガルギター & マンドリン

# Marionette

マリオネットコンサート

～アコースティックSacay2024～



MUZIC@NET



MUZIC@NET/マリオネット

日本におけるポルトガルギターのパイオニア・湯浅隆と、マンドリン界をリードする吉田剛士によるアコースティックDUO。ポルトガルギター、マンドリュート、ギター、マンドリンを駆使し、自作自演のオリジナル楽曲を中心に、世界の名曲やポピュラー、日本童謡も含め幅広く活動。その音色は郷愁感に満ち溢れ、ポルトガル大使より「ポルトガルと日本の音楽の最高フュージョン」との評を賜る。結成以来、映画、TV番組テーマ曲、TVCM、バレエ・演劇などの音楽を数多く担当。また、俳優・常田富士男、高倉健、女優・日色ともゑ、竹下景子を始め、パントマイム・清水きよし、歌手・リリィ、石川さゆり、渡辺真知子、グラシエラ・スサーナ、長谷川きよし、中国古箏・伍芳との共演など、様々な分野とジョイント。95年のデビューCD『ぼるとがる幻想』は異例の4万枚のヒット。以降、計15枚のアルバムを発表。楽曲は様々なBGMとして使われている。2013年、日本ファド史である2枚組CD『Zipangu Fado』をプロデュース。多数のテレビ・ラジオにも出演（『徹子の部屋』『スタジオパークからこんにちは』など）各地ライブ活動の他、NHK名曲アルバム演奏、NHKラジオ深夜便・深夜便のうた「唐街雨情／歌・グラシエラ・スサーナ／作詞作曲・湯浅隆」（カラオケにも収録）、豪華客船「飛鳥II」ワールドクルーズでのエンタ等も。1998年、リスボン国際博覧会EXPO'98ジャパNDER日本代表で出演。又、「Festival de Guitarra Portuguesa na Expo'98」に日本人では唯一招待。2013年、『第6回石見銀山文化賞・特別賞』受賞。日ポ友好470周年記念コンサート「The Way of Namban／南蛮ぎたるらの世界」をリスボンで開催。堺市よりの依頼で『南蛮Sacay』を作曲。2014～2017年、大分むぎ焼酎「二階堂」のTVCM全国放送。2015年、ポルトガル大使館より日ポ両国の文化面での関係発展への貢献が認められ『ジョアナ・アブランシス・ピント賞』を受賞。2016年、高知県梶原町より『ゆすはら未来大使』に任命。2017年、大分日本ポルトガル協会設立40周年記念曲（杉村忠彦会長より依頼）『南蛮BVNGO』を作曲、同曲は大分市公式動画サイト『いいやん！大分』で公開中。2018年、アサヒ飲料炭酸水「ウィルキンソン」のWebCMに『いつものBarで逢いましょう』を作詞作曲（歌／長谷川きよし、ベース／ロン・カーター）2019年、人形劇団プーク90周年記念作品「オッペルと象（花巻市・第32回イーハトーブ賞受賞）」音楽担当。2020年、大分市医師会立アルメイダ病院50周年記念曲『アルメイダの聖鐘』『南蛮天使アルメイダ』作曲。熊本県天草市文化課世界遺産・文化財係よりの依頼で「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録一周年記念曲『南蛮AMACUSA』作曲。2021～22年、劇団民藝「泰山木の木の下」（主演／日色ともゑ）に「ギターを弾く男」で出演。現在、大分銘菓「ざびえる」のTVCM「南蛮舞曲」が大分で放映中。2022年、青弓社より吉田剛士がマンドリン総合ガイドブック「まるごとマンドリン」出版。2023年、マンドリンによるCD&楽譜集・日本童謡「トレモロココロ」、CD「Marionette BEST MUZIC@NET」（新曲あり）発売。2023年10月、4回目の「二階堂」TVCM曲（全国放送）を担当。11月中は劇団民藝との共同制作「ほんとうのやさしさで／朗読・日色ともゑ」（構成・演出／湯浅隆）2024年には、飛鳥IIワールドクルーズ（地中海）、ポルトガル公演、劇団民藝「泰山木の木の下」（67公演）が予定されている。

480

ポルトガル 日本  
PORTUGAL JAPÃO

日本とポルトガルの交流は480年前にさかのぼります。1543年、3人のポルトガル人が日本の種子島に漂着しました。この出会いから始まった様々な交流は、両国の深い友情を育みました。480年の歳月を経ても、日本とポルトガルの絆は今なお続き、多くの共通の価値観と美しい文化が交わります。この記念すべき年を祝し、左記のロゴマークが制定されました。

【堺とポルトガル、歴史の始まり】ものの始まりなんでも堺・鉄砲

ポルトガルから種子島に鉄砲が伝えられた直後、堺の商人橋屋又三郎が種子島を訪れ鉄砲の製法を学んできたのが、堺で鉄砲が作られるようになったはじまりといわれています。

又三郎は「鉄砲又」といわれるほど鉄砲作りがうまかったこと、堺では平安時代から鑄造・鍛造の高度な技術が伝えられていたこと、火薬の原料となる硝石を輸入できたことがその理由でしょう。――提供（公社）堺観光コンベンション協会――

鉄砲「種子島」

TONSA